

令和 8 年 4 月 8 日

(様式 1)

## 令和 8 年度 学校経営計画書・自己評価計画書

私立小松大谷高等学校
学校長 山崎 記英子

### 1. 建学の精神

親鸞聖人の教えと信仰を基調とし、自己の心底を探求し、勤労と責任を重んじ、世に出てこの人あればこそといわれる人材を養成することを使命とする。

### 2. 学校の現状

- (1) 南加賀地区唯一の私学として、建学の精神に基づく教育活動は保護者をはじめ地域社会から評価を得ている。
- (2) 生徒の興味・関心・意欲を引き出す授業の確立に取り組み、学習習慣の定着が見られる。
- (3) 学校行事や生徒会活動、部活動を通じて全人的発達が促され、生徒は積極的かつ主体的な活動を行っている。

### 3. 中・長期的目標

#### (1) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 各科・コース・学年の年間指導計画の充実と実践を図る。
- ② 基本的生活習慣の定着を目指し、正しい習慣・規範意識を育み、豊かな人間性の涵養に努める。
- ③ 創立 70 周年に向けて教育環境の美化と保全に努める。また地域に開かれた学校として地域の奉仕活動にも励む。

#### (2) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教職員一人ひとりが学校経営に参画している自覚を持ち、建学の精神の基に組織的、機能的な学校運営に努める。
- ② 教職員は研究授業、授業互見、校内外研修会を通じて、より質の高い教育を目指し、授業力、指導力の向上に努める。
- ③ 生徒はもとより保護者（朋の会）、地域との連携を深め信頼される学校づくりを推進していく。

### 4. 今年度の重点目標

- (1) 基本的生活習慣を身につけ、自己の研鑽に努め、信仰の薫育、奉仕の精神を養うとともに「公德心」を育成する。
- (2) 各科・コースの目標に沿った「学びのある学校」を目指し、授業力の向上に励み、生徒一人ひとりの進路実現に向けて学習意欲の涵養に努める。
- (3) 教職員一人ひとりが学校経営に参画している自覚を持ち、組織的、機能的な学校運営に努める。
- (4) 地域に根ざした学校として、保護者、教職員、そして、地域の方々が敬愛と信義の念を持ち、連携・協働して生徒の教育にあたる。
- (5) 生徒会活動、部活動のより活性化を目指し、自主・自律・協調の精神を育成し、心身の健全な発達を求める。